


東京・世田谷区

## 介護職員や保育士に幅広くPCR検査方針



保健所機能  
強化を



検査体制  
拡充を



病院への  
直接的支援  
拡充を



ひとり親  
世帯への支援  
強化なども



エアシャower設置した松山市内の病院で今後の課題など意見交換



PCR検査おこなう衛生環境研究所訪問。激励、意見交換

検査や医療体制拡充等を県に要望  
=7月30日

田中県議はこの間、愛媛大学医学部の感染症対策部長、医療関係者など訪問。ある医療関係者は「冬にむけてインフルエンザ流行と重なることが一番危惧される。かかりつけ医では別の導線確保しきれない。テント等設置必要だし、『発熱外来』など確保してもらいたい」

と指摘。PCR検査を担う県衛生環境研究所や保健所も訪問、激励しつつ、冬にむけての感染拡大も想定しての対策等でも意見交換。保健所では再雇用など保健師の確保に努力しているものの、想定どおりの人員が確保出来ない状況も聞かれました。

引き続き要望  
つらぬく

- 保健所の負担軽減。9基購入する全自動PCR検査装置の配置とともに、医療機関と連携した、PCR検査センター等の設置検討を
- PCR検査や抗原検査を広く受けられるよう、その導入支援を。とくに、医療従事者や介護従事者のPCR検査を計画的に促進を。
- 病院の赤字補てんを含め財政的な支援拡充を。
- 放課後児童クラブや保育所についても、介護や障がい福祉施設同様に、「慰労金」の支給を
- ひとり親世帯へのさらなる支援を

## 県民の声を受けた補正予算編成も

声を  
あげ続けましょう



街頭からコロナ危機打開を訴える田中県議

この間、県では新型コロナに対応する補正予算を今年度5回編成。文化・芸術等の今後の活動再開にあたって、会場使用料や設営費等上限50万円支援する「文化芸術活動支援事業」や、就職活動が長期化するなかで県出身で県外にいる学生が帰ってきて県内企業就職への面接等受けられるように往復の交通費を支援する「県外学生Uターン就職等応援事業」。病院や診療所がおこなう感染防止、診療体制確保への支援をおこなう「医療機関等感染拡大防止等支援事業」等がおこなわれています。今後も、様々な支援が必要ですし、さらに拡充させていく課題も多いです。引き続き、県民のみなさんが声を上げ続けることが大切です。

田中県議は6月議会の農林水産委員会で、新規就農めざす農業の担い手をつくる農業大学校のコロナ禍での取り組みを質問。授業料減免制度はあり、現在、3割以上の学生が減免制度を。オンライン授業やICT化の現状を聞くと現場から対応を求める要望もあがっているため「今後検討したい」とのことでしたが、8月補正予算で実施の運びとなりました。

また、コロナ禍で苦しむマダイ養殖業者や畜産業者から現状も聞き、必要な対応を国にも求めています。



養殖業者から状況を聞く(宇和島市)



畜産業者から状況を聞く(西予市)